

2020年度(令和2年度)
多機能型施設(生活介護事業・自立訓練(生活訓練)事業)
横浜市中山みどり園
事業報告書

1. 在籍人数(各月1日現在)

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	月平均
横浜市	男性	30	30	30	30	30	28	28	28	28	28	28	29	28.9
	女性	14	14	14	14	14	14	14	14	14	14	12	12	13.7
	小計	44	44	44	44	44	42	42	42	42	42	40	41	42.6
逗子市	男性	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1.0
	女性	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0
	小計	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1.0
葉山町	男性	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0
	女性	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1.0
	小計	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1.0
合計	男性	31	31	31	31	31	29	29	29	29	29	29	30	29.9
	女性	15	15	15	15	15	15	15	15	15	15	13	13	14.7
	合計	46	46	46	46	46	44	44	44	44	44	42	43	44.6

2. 入所・退所状況

	入所	退所	理由		入所	退所	理由
4月				10月			
5月				11月			
6月				12月			
7月				1月		2	他事業所へ
8月		2	他事業所へ/死亡	2月			
9月				3月	1		自立訓練新規利用
				計	1	4	

3. 利用者の年齢及び性別状況(3月末日現在)

年齢	男性	女性	合計	構成比(%)
15～19歳	0	0	0	0.0 %
20～29歳	4	3	7	16.3 %
30～39歳	8	1	9	20.9 %
40～49歳	17	6	23	53.5 %
50～59歳	1	1	2	4.7 %
60～64歳	0	0	0	0.0 %
65～69歳	0	0	0	0.0 %
70～79歳	0	2	2	4.7 %
80～89歳	0	0	0	0.0 %
90歳以上	0	0	0	0.0 %
合計	30	13	43	100.0 %

平均年齢	3月末日
男性	38.8 歳
女性	44.8 歳
全体	40.6 歳

4. 障がい支援区分

	男性	女性	計	構成比
区分1			0	0.0 %
区分2			0	0.0 %
区分3			0	0.0 %
区分4	4	2	6	14.0 %
区分5	7	3	10	23.3 %
区分6	19	8	27	62.8 %
区分なし			0	0.0 %
計	30	13	43	100.0 %

待機者(3月末日現在) 0名

欠員(3月末日現在) 5名
自立訓練

5. 在籍期間の状況

	男性	女性	計
1年未満	1	0	1
1～5年未満	2	1	3
5～10年未満	4	4	8
10～15年未満	7	3	10
15～20年未満	1	1	2
20年以上	15	4	19
計	30	13	43

6. 通所(活動)及び利用状況

	通所(活動) 日数	定員	在籍 人数	通所(利用) 延人数	定員あたりの 通所(利用)率%		通所(活動) 日数	定員	在籍 人数	通所(利用) 延人数	定員あたりの 通所(利用)率%
4月	23	40	46	873	94.9 %	10月	24	40	44	893	93.0 %
5月	20	40	46	731	91.4 %	11月	23	40	44	828	90.0 %
6月	24	40	46	907	94.5 %	12月	23	40	44	819	89.0 %
7月	25	40	46	857	85.7 %	1月	21	40	44	751	89.4 %
8月	13	40	46	518	99.6 %	2月	22	40	42	746	84.8 %
9月	22	40	44	825	93.8 %	3月	25	40	43	860	86.0 %
※8月はコロナ感染のため6日間施設閉所						計	265			9,608	90.6 %
						前年度	268	40		10,462	97.6 %

7. 行事報告

	行 事	余暇活動等	会議等	その他
4月	体重測定 トランスフィットネス	緊急事態宣言に伴い自粛	健康相談	
5月	体重測定 トランスフィットネス	緊急事態宣言に伴い自粛	健康相談	
6月	体重測定 トランスフィットネス	緊急事態宣言に伴い自粛	健康相談 ケースカンファレンス (発達支援センター)	
7月	体重測定 トランスフィットネス	全体活動	健康相談 ケースカンファレンス Dr相談	横浜市第3期指定管 理 プロポーザル
8月	夏祭り 体重測定 トランスフィットネス PCR検査(8月12日、18日)	全体活動	健康相談 ケースカンファレンス Dr相談	臨時閉所(14日~20 日)6日(新型コロナ 感染者)
9月	体重測定 トランスフィットネス 健康診断	土曜日サークル 全体活動	健康相談 Dr相談	
10月	日帰り旅行 職員健康診断 体重測定 トランスフィットネス	土曜日サークル 日帰り旅行	健康相談 横浜発達クリニック巡回	
11月	日帰り旅行 体重測定 インフルエンザ予防接種 トランスフィットネス	土曜日サークル 日帰り旅行 ふれあいコンサート 園内泊	健康相談	
12月	体重測定 トランスフィットネス	土曜日サークル 園内泊	健康相談 発達支援センター 横浜発達クリニック巡回	
1月	体重測定 トランスフィットネス	土曜日サークル	健康相談	
2月	園内宿泊1回 体重測定 トランスフィットネス	土曜日サークル	健康相談 横浜発達クリニック巡回	
3月	園内宿泊1回 体重測定 トランスフィットネス	土曜日サークル	健康相談 横浜発達クリニック	YネットOP訪問

8. ボランティア参加状況

	延人数		延人数
4月	3	10月	7
5月	0	11月	7
6月	0	12月	6
7月	9	1月	3
8月	3	2月	7
9月	5	3月	8
	計		58
	前年度		101

緊急事態宣言時はボランティアの受け入れをしませんでした。

9. 研修報告

(1) 法人内・施設内研修

	日付	研修内容	参加者
1	5月29日	自閉症連続研修(事例検討会)① リモート	副主任1名、支援員4名
2	6月25日	安全運転管理委員会	支援員1名
3	6月26日	自閉症連続研修(事例検討会)② リモート	副主任1名、支援員4名
4	7月17日	自閉症連続研修(事例検討会)③ リモート	副主任1名、支援員4名
5	7月28日	3・4年目フォローアップ研修	副主任1名、支援員4名
6	8月5日	2年目フォローアップ研修	支援員2名
7	8月4日	1年目フォローアップ研修	支援員2名
8	8月28日	自閉症連続研修(事例検討会) リモート	副主任1名、支援員3名
9	9月25日	自閉症連続研修(事例検討会)⑤ リモート	副主任1名、支援員2名
10	10月23日	自閉症連続研修(事例検討会)⑥ リモート	副主任1名、支援員4名
11	12月18日	自閉症連続研修(事例検討会)⑦ リモート	副主任1名、支援員4名
12	1月22日	自閉症連続研修(事例検討会)⑧ リモート	副主任1名、支援員4名
13	2月26日	自閉症連続研修(事例検討会)⑨ リモート	副主任1名、支援員4名
14	3月19日	自閉症連続研修(事例検討会)⑩ リモート	副主任1名、支援員4名

(2) 法人外研修

	日付	研修内容	参加者
1	6月25日	防火管理者研修	支援員1名
2	6月26日	防火管理者研修	支援員1名
3	11月2日	コロナ対応研修	支援員1名
4	3月5日	強度行動障害基礎研修	支援員1名

10. 防災報告(避難訓練等)

	日付	内 容
1	4月21日	避難訓練(地震)、水害訓練(垂直)、防犯備品の確認
2	5月11日	防災訓練(火災)
3	6月12日	避難訓練(地震)
4	7月8日	防災訓練(火災)
5	7月10日	防災訓練(火災)
6	9月1日	法人防災訓練(地震)
7	10月8日	防災訓練(火災)
8	11月17日	避難訓練(地震)
9	12月14日	防災訓練(火災)
10	1月18日	避難訓練(地震)
11	2月12日	防災訓練(火災)
12	3月11日	法人防災訓練(地震)

11. 事故報告等

(1) 事故報告

	日付	事 故 内 容	対 応
1	6月18日	利用者さんが靴の履き替えの際にバランスを崩してしまい、介助していた職員がいたものの支えきれず、利用者さんが転倒してしまいました。	頭から出血があったため、通院しました。縫合は行わなくてもよいとのことで消毒処置をしてもらいました。

(2) インシデント

	件数		件数
4月	0	10月	0
5月	0	11月	0
6月	0	12月	1
7月	0	1月	0
8月	0	2月	0
9月	0	3月	1
		計	2

(3) ヒヤリハット

	件数		件数
4月	2	10月	2
5月	2	11月	2
6月	8	12月	1
7月	7	1月	0
8月	0	2月	0
9月	2	3月	0
		計	26

(4) 車両事故

	日付	事故内容	対応
1	5月19日	車を駐車場から出庫する際に、前方にある公用車に気を取られ、右側面の壁にこすってしまいました。	園での対応をしました。こすってしまった箇所は見落としがちな箇所のため、保護クッションにて補強および目印とし、再発予防を施しました。

12. 苦情報告等

(1) 苦情報告

	日付	事故内容	対応
1		なし	

(2) クレーム・ご意見

	件数		件数
4月	13	10月	9
5月	21	11月	10
6月	19	12月	12
7月	16	1月	11
8月	10	2月	10
9月	11	3月	13
		計	155

ご意見＝要望も含む

13. 第三者評価

第三者評価の実施 今年度実施ありません。2019年度実施

14. 利用者満足度調査

未実施

15. 今年度の重点目標

職員のアンケート調査、話し合いによって達成していること○、一部達成△、未達成× でまとめました。意見の多かった評価を記載しており、未達成と評価する意見もあるため、総意でない課題もあります。

1、人間尊重主義に基づき他を思いやり、誰も見ていなくとも、人の嫌がる仕事も進んで行う職員集団を目指します。 ○

2、権利擁護と利用者主体の支援に努めます ○

3、障がい者の高齢化問題に対応します ○

16. 今年度の重点課題の結果

(1) 人間尊重主義に基づき他を思いやり、誰も見ていなくとも、人の嫌がる仕事も進んで行う職員集団を目指します

① 職員間のコミュニケーションを図りやすくするための取り組みを行います。 △

② 今職員が出来ていること、“これからどうしていきたいか”前向きに話し合える、皆で認め合える場を作ります。 △

③ 職員の自己目標を設定し、目標獲得に向けた研修や自己研鑽を促します。 △

(2) 権利擁護と利用者主体の支援に努めます

① 利用者さんが選んだり楽しんだりできる選択肢を増やし、提供していきます。(外出・体験プログラムなど) ○/△

② 職員がお互いの支援について、利用者さんの人権を配慮した支援を行っているか確認し合います。 ○

(Yネットへの参画・人権ツールの活用)

- ③ 事故検証の報告を受けて、虐待防止に向けての工程表を作成し、それに基づいて権利擁護の意識啓発に努めます。 ○/△
- (3)障がい者の高齢化問題に対応します
- ① 高齢化に伴い、健康維持のためのプログラムを増やします。 ○
- ② 利用者さんの身体的・精神的な変化にいち早く気づき対応できるようにします。そのために職員間で情報共有を大切に、専門分野の人の意見や職員個々の情報収集に努めるように働きかけます。 ○
- ③ 高齢化、疾患による医療や介護ケアについての学びや、それを支える職員への精神的なケアに対応していきます。 △
- (4)より高い専門性を獲得させ、利用者さんやご家族から評価される事業を展開します。
- ① 職員それぞれ設定した目標に基づき研修への参加等自己研鑽に努め、自らの成長が自分自身で実感できるよう職員育成を行います。 ○
- ② 嘱託医による専門分野(自閉症)の研修会を継続して行うことにより職員の専門性の育成や職員間の支援の統一を図ります。 ○
- ③ 作業の充実を図るために作業担当を統括し、話し合いの場をつくります。 ○/△
- (5)その他(第三者評価から出された課題、職員からの声、昨年度から引き続きの取り組みなど)
- ① 館内の衛生や、環境整備を行い、明るく楽しい空間づくりを行います。 ○
- ② 所内の業務整理を行い、いつ、だれでも整理できるような環境整備に取り組みます。 ○
- ③ 自然災害に向けて、職員間の訓練・議論を行います。 ○
- ④ 特別避難場所を開設した際の運営方法について検討します。 ○
- ⑤ ヒヤリハット事案の課題分析・改善およびその共有を促進します。 ○
- ⑥ 実習の受け入れを積極的に行うためのマニュアルを整備します。 △
- ⑦ 地域の社会資源を理解し、積極的につながっていくことにより、利用者さんの活動の幅を広げます→自立支援協議会への積極的参加 △
- ⑧ 日直業務・休憩時間の安定確保・会議の効率化・記録やまとめの見直し △

17. 社会貢献活動

・法人の取り組みである、献血活動には1名の職員が横浜地区の献血に参加しました。

18. まとめ・活動報告

・新型コロナウイルス感染に伴い、国の緊急事態宣言が行われた時期については、通常の活動は継続しましたが、外出を伴う余暇活動や、外部講師を招いたプログラム、宿泊訓練等は自粛しました。また、新型コロナウイルス感染者(利用者さん1名、職員2名)に伴い、8月14日～20日を臨時休業としました。この感染対策については、緑区保健所、法人危機管理室、大和さくらクリニックの医師、横浜市と連携を取りながら、また、横浜知的障害関連施設協議会の協力をいただきながら、対応しました。

・病気治療中の利用者さんが、7月6日、長く住み慣れたグループホームにて亡くなりました。2018年5月に末期がんとの宣告を受けてから、ホームでの暮らしを満喫し、みどり園での活動もご本人のペースを見守りながら、医療機関との連携やみどり園看護師のサポート体制も強化しながら支援を行いました。